



うちやましん こ 内山真吾 東京都議会議員（昭島市）

1980年（昭和55年）2月生まれ。申年。家族：妻、娘2人（小学3年生、3歳）
明星小～中学、高校卒業。中高では野球部一筋。浪人時代は学費を稼ぐため、住み込みで新聞配達をしながら予備校に通う。
日本体育大学卒。在学中にボクシングプロライセンスを取得。卒業後は単身カナダに留学。本場の野外教育を修得。帰国後、教育NPOを設立。いじめや不登校、学級崩壊などの問題に取り組む、成果を上げる。

衆議院議員長島昭久秘書を務めた後、平成23年昭島市議会議員選挙にて初当選。平成27年、2期目の厳しい選挙ではトップ当選。厚生文教委員長を務める。平成29年東京都議会議員選挙初当選。現在2期目。都民ファーストの会東京都議団 副政調会長（文教担当）。関東若手議員の会 児童虐待防止PT顧問、昭島青年会議所2019年度理事長。一般社団法人東京野外教育活動研究会代表理事。全日本スキー連盟準指導員、テクニカルプライズ。

～ 活動理念や直近の活動報告 ～

「子どものミカタ」として、子ども達の育ち、学びの環境の拡充、セーフティネットの整備に取り組んでいます。今年10月には、超党派の若手地方議員とともに『子どもの虐待はなくせる！「安心して子育てができる社会」を考える』（けやき出版）を上梓。小池百合子都知事にもお渡しし、児童虐待を生まない社会作りについて、意見交換をしました。



小池百合子都知事と意見交換

また、皆さんからもご要望頂いていた多摩地域の東京都ワクチン大規模接種会場設置について、7月には昭島、立川等に開設することが出来ました。



ワクチン大規模接種会場の視察

引き続き、コロナ禍における皆さんの「働く」「学ぶ」「生きる」を支える都政の実現に向け全力で頑張っていますので、様々な声をぜひお寄せください。



おおいし 大石ふみお 立川市議会議員

立川市議会議員の大石ふみおです、現在市議4期目16年目を活動中です。生年月日は昭和35年11月25日 いて座 61歳、出身地は新潟県十日町市の田舎育ちで6人姉兄の一番下で中学まで過ごしました。

その後、長野県飯山市に移り住み、高校生活を過ごし、昭和54年東京電力に就職、昨年、定年（還暦）を迎え、同じ職場に再就職致しました。その会社生活の間に、東京電力労働組合執行委員長、連合三多摩東部第一地区協議会議長を経験しました。

現在は、国民民主党東京都連 副幹事長や立川新潟県人会 会長、立川長野県人会 幹事長の役をさせていただいております。令和4年6月には立川市議会の改選があり、5期目に挑戦を致します。どうか旧に倍するご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

～ 基本姿勢 ～

原子力事故を起こした企業として、3.11を忘れずに、行動しています。これからも、「視線は低く・アンテナは高く」「いつも身近な行動派」を基本に、活動していきます。

～ 近況報告 ～

立川市ではこれまで、コロナ対策として1弾から4弾と緊急対応方針を決定し、感染症対策に取り組んできましたが、第5弾（抜粋）の緊急対応方針を定め、以下の通り取り組みを拡充していきます。

- 1、地域医療・地域福祉事業にかかる取り組み
 - 12歳から18歳までの年齢層への接種、妊婦への検診時等における優先接種を実施します。
 - 夜間接種や予約なしによる集団接種と個別接種を通じて希望する方の接種を加速します。
- 2、自宅療養者等への支援の取り組み
 - 自宅療養者への食料品等の提供やパルスオキシメーターの貸与を行います。
 - 入院後、軽症となり、自宅療養が可能となった方に交通手段を提供します。
- 3、地域経済と新たな環境づくりにかかる取り組み
 - 中小事業者事業継続支援金事業として、アクリル板の設置や消毒液の購入、テイクアウト等新たなサービスの導入等、感染症の影響により中小事業者が取り組んだ経費に対し、支援します。
 - 地域学習館6館にWi-Fiを整備し、コロナ禍での生涯学習を支援します。
- 4、感染予防対策の取り組み
 - 学校において教室内のCO2濃度を見える化をすることにより、適切な換気ができるようにするために、CO2濃度センサーを導入します。
 - 感染予防物品購入として、公共施設（本庁舎や子ども未来センターなど）での感染拡大防止のための物品等を購入して適切に対応します。



【市民の皆様からの声に応える活動】



＜交通対策＞

歩道から車道に出る手前に、看板と自転車停止マーク設置



＜住民の安全・交通対策＞
市道から公道に出る手前の両側にカーブミラー設置



＜生徒の安全・交通対策＞

P.T.Aから、市内中学校通学路グリーンライン強調

＜防犯対策・夜暗い＞
多摩川付近 街路灯の設置





だてじゅんいちろう 伊達淳一郎 国分寺市議会議員

1982年（昭和57年）広島県生まれの東京育ち 39歳 法政大学政治学科卒業
家族：妻と小4の娘、幼稚園の息子
小学校、中学校の9年間は野球を、高校は空手部に所属し段位も取得。上手ではないですが、料理が趣味です。

現在、国分寺市議会議員2期目、総務委員会の委員長に就かせて頂いています。議員活動で大事にしていることは、「すぐに行動！」「常に謙虚・地道に」です。

当事者の一人として、保育所、学校等の環境整備や子育て支援に力をいれるとともに、若い世代や新しく国分寺市に引っ越してこられた新住民の皆さんと地域のつながりが構築できるよう地域活動にも積極的に参加しています。

「市議会議員の仕事＝生活に身近なテーマの改善」です。ただ、秘書がいるわけではないので、お困りごとを聞いて回るのにも一人では限界があります。ですので、ぜひ皆さんからお気軽に地域や暮らしの中での課題を教えてくださいたいと思います。全てを解決することはできないかもしれませんが、まずは「すぐに行動！」してみます(^^)／



【市民の皆様からの声に応える活動】

道路沿道の樹木の根っこがせり上がってきて、歩道のブロックに段差ができており、高齢者がつまづいてしまうとのご連絡を頂いたので応急処置をしてもらいました。

＜処置前＞



＜処置後＞



ひえだみなこ 稗田美奈子 国立市議会議員

1979年4月26日 国立生まれ国立育ち
ママの森幼稚園→国立二小→国立一中→国立高校→電気通信大学量子・物質工学科卒の理系女子
現在3期目、副議長歴任、所属委員会：総務文教委員会（総務一筋11年目！）
現在も学習塾の講師をしております。（英語・数学・理科・化学・生物などを教えています。）
教育、子育て、健康施策に女性目線・母親目線で取り組んでいます。

プライベートでは夫とともに2歳、4歳の息子の育児に奮闘中！ 料理好き（お味噌は毎年仕込んでいます。）手芸もDIYも好きで、家庭的である意外な面もあります。

～ 活動理念 ～ 現場第一主義&困った時に頼れる開かれた市役所づくり

どんな制度も現場まで来ると、想像していなかったことが出てくるものです。現場を見てから制度設計を考えて行く現場第一主義でこれまで取り組んできました。コロナを経験して困ったことにぶつかった人も多いと思います。それぞれのライフステージで様々な困りごとにぶつかった時に頼ることができる開かれた市役所づくりにも努めています。

～ 活動報告 ～

○2022年度から教育相談室の第2土曜日の開設予定、○放課後デイサービスの情報提供と市との連携強化。○医療的ケアが必要な災害時要支援者情報のICT化提案 など

★新型コロナ対策★

○健康相談：保健センター（042-576-6111）午前8時30分～午後5時（平日のみ）

○自宅療養の相談：自宅療養支援室（042-576-2111）（内線：792,793）

午前9時～午後5時（土・日・祝日を含む）

○3回目ワクチン接種について（希望される方は右のQRコードを読み込んでください）

○学校について



新型コロナウイルス感染症対策として欠席ではなく、出席停止となるのは以下のような場合になります。

- ・新型コロナウイルスに感染した場合
- ・濃厚接触者になった場合
- ・感染予防。感染不安のため学校を休む場合
- ・ワクチン接種のため学校を休む場合
- ・ワクチン接種後の副反応がある場合
- ・本人又は同居の家族がPCR検査を受けた場合 など

出席停止になった場合の学習にも遅れが出ないようにオンライン形式を使った学習などで個別対応しますので教育委員会にご相談ください。学級閉鎖や学年閉鎖学校閉鎖になった場合についても学校での学びを止めないために1人1台端末を持ち帰った（家庭のPCを活用した）オンライン形式の学習を進めます。インターネットへ接続は各ご家庭で必要となりますのでご不明な点は学校へお問い合わせください。

【市民の皆様からの声に応える活動】



バス停留所の路面補修



【アトガキ】空気が乾燥して感染症が流行する季節となりました。手洗い・うがい・密を防いで感染症から自分と大切な方々を共に守っていきましょう。肌が弱い私は手を洗った後、ハンドクリームを塗らないと水分が飛びすぎてガサガサになってしまいます。ハンドクリームは色々使っていますがなかなかお気に入りが見つかりません。おすすめのハンドクリームがあったら是非教えてください